

平成 31 年 3 月 20 日

中部圏域の地域医療構想に関する合意書

沖縄県中部地区地域医療対策会議（以下「本会議」という。）は、平成 30 年 9 月 27 日から平成 31 年 3 月 20 日までの間、中部圏域における今後の医療提供体制について協議した結果、平成 31 年 3 月 20 日の同会議において次の事項について合意した。

- 1 沖縄県立中部病院、中頭病院、ハートライフ病院、琉球病院及び沖縄病院の 2025 年における担うべき役割及び医療機能ごとの病床数は、平成 30 年 9 月 27 日の会議で提示した公的医療機関等 2025 プランのとおりとする。
- 2 沖縄県立中部病院、中頭病院、ハートライフ病院及び中部徳洲会病院の医療機能は、高度急性期及び急性期に特化するものとする。
- 3 中部圏域に所在する医療機関が担うべき役割及び医療機能ごとの病床数は、別紙のとおりとする。
- 4 中部徳洲会病院の高度急性期 41 床への機能転換に当たっては、医療従事者の需給状況への影響を十分考慮するものとする。
- 5 沖縄病院の急性期病床 40 床及び北谷病院の慢性期病床 54 床については、回復期機能への転換を進める。
- 6 与勝病院の慢性期病床 20 床については、回復期機能への転換を検討する。
- 7 上記 2 及び 4 から 6 以外の医療機関は、中部圏域における各医療機能の需給動向等を踏まえ、不足する医療機能への転換を検討するものとする。

8 次の(1)から(4)の事項については、今後、本会議において協議を継続する。

(1) 中頭病院の公的医療機関等 2025 プラン中、地域救命救急センターの設置に関する事

(2) 琉球大学医学部附属病院の移転に伴う中部圏域の医療提供体制への影響や圏域内の連携体制等

(3) 平成 31 年 1 月 31 日付けで沖縄県に事前協議のあった社会医療法人敬愛会が新たに設置する有床診療所について、今後、設置する病床が果たす機能の確認

(4) 病棟単位で非稼働である病床の今後の稼働見通しの確認

9 上記事項を修正する必要がある場合は、改めて本会議において協議する。

中部圏域の将来における具体的対応方針

No.	区分	医療機関名	プラン	役割											現状						具体的対応方針(医療機関計画)						備考				
				がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	病床数(平成31年3月20日現在)					(非稼働病床)	病床数(6年後又は2025年の予定)					介護保険施設へ移行					
															合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		休棟(病棟単位で非稼働)	合計(介護保険施設移行除く)	高度急性期	急性期	回復期			慢性期	休棟(病棟単位で非稼働)		
1	病院	沖縄県立中部病院	2025プラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	550	70	480	0	0	0		559	79	480	0	0	0	0	○高度急性期(NICU)9床を増床予定
2	病院	中頭病院	2025プラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	355	51	304	0	0	0		355	70	285	0	0	0	0	○急性期19床を高度急性期に転換予定	
3	病院	中部徳洲会病院	将来プラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	347	26	321	0	0	0		347	67	280	0	0	0	0	○急性期41床を高度急性期(HCU)に転換予定	
4	病院	ハートライフ病院	2025プラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	308	20	288	0	0	0		308	20	288	0	0	0	0	現状維持	
5	病院	沖縄病院	2025プラン	○	○										○	270	0	125	0	145	0		270	0	85	40	145	0	0	○急性期40床を回復期(地域包括ケア病棟)へ転換予定	
6	病院	名嘉病院	将来プラン		○											220	0	40	0	180	0		220	0	40	0	180	0	0	現状維持	
7	病院	屋宜原病院	将来プラン		○											220	0	0	0	220	0		220	0	0	0	220	0	0	現状維持	

No.	区分	医療機関名	プラン	役割										現状						具体的対応方針(医療機関計画)						備考							
				がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	病床数(平成31年3月20日現在)					(非稼働病床)	病床数(6年後又は2025年の予定)						介護保険施設へ移行						
															合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		休棟(病棟単位で非稼働)	合計(介護保険施設移行除く)	高度急性期	急性期	回復期			慢性期	休棟(病棟単位で非稼働)				
8	病院	ちゅうざん病院	将来プラン		○													216	0	0	216	0	0		216	0	0	216	0	0	0	0	現状維持
9	病院	沖縄リハビリテーションセンター病院	将来プラン		○		○											199	0	0	199	0	0		199	0	0	199	0	0	0	0	現状維持
10	病院	海邦病院	将来プラン		○	○	○									○		141	0	21	75	45	0		141	0	21	75	45	0	0	現状維持 ○急性期44床を回復期(地域包括ケア病床)に転換済み	
11	病院	与勝病院	将来プラン	○	○		○									○		140	0	0	60	80	0		140	0	0	60	80	0	0	△慢性期20床を回復期(地域包括ケア病床)へ転換検討中	
12	病院	宜野湾記念病院	将来プラン		○	○	○		○							○		135	0	66	69	0	0		135	0	66	69	0	0	0	0	現状維持
13	病院	北上中央病院	将来プラン		○		○											120	0	0	0	120	0		120	0	0	0	120	0	0	0	現状維持
14	病院	北中城若松病院	将来プラン		○	○	○	○										115	0	25	36	54	0		115	0	25	36	54	0	0	0	現状維持
15	病院	中部協同病院	将来プラン			○	○									○		114	0	30	84	0	0		114	0	30	84	0	0	0	0	現状維持

No.	区分	医療機関名	プラン	役割										現状						具体的対応方針(医療機関計画)						備考																		
				がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	病床数(平成31年3月20日現在)					(非稼働病床)	病床数(6年後又は2025年の予定)						介護保険施設へ移行																	
															合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		休棟(病棟単位で非稼働)	合計(介護保険施設移行除く)	高度急性期	急性期	回復期			慢性期	休棟(病棟単位で非稼働)															
24	有床診療所	愛知クリニック	病床機能報告	○	○	○									○	○							19	0	0	0	0	19	(19)	19	0	19	0	0	0	0	0	0	0	□休棟19床を急性期(内科・小児科)として再開見込み				
25	有床診療所	当山産婦人科医院	病床機能報告												○														19	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	現状維持				
26	有床診療所	松永眼科医院	病床機能報告			○																							19	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	現状維持				
27	有床診療所	あいレディースクリニック	病床機能報告												○														19	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	現状維持				
28	有床診療所	プラザクリニック	病床機能報告												○														19	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	現状維持				
29	有床診療所	中部産婦人科医院	病床機能報告												○														19	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	現状維持				
30	有床診療所	与勝あやはしクリニック	病床機能報告			○																							19	0	0	0	0	0	19	0	0	0	19	0	現状維持			
31	有床診療所	やびく産婦人科小児科	病床機能報告												○														19	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	現状維持			
32	有床診療所	中部眼科	病床機能報告			○																							9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	現状維持			
33	有床診療所	ゆいクリニック	病床機能報告												○	○													5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	現状維持			
34	有床診療所	美里女性クリニック	病床機能報告												○														1	0	0	0	0	0	1	(1)	1	0	0	0	0	1	0	現状維持
35	有床診療所	古堅ウィメンズクリニック	病床機能報告																										1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	現状維持		

No.	区分	医療機関名	プラン	役割										現状							具体的対応方針(医療機関計画)							備考			
				がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	病床数(平成31年3月20日現在)						(非稼働病床)	病床数(6年後又は2025年の予定)							介護保険施設へ移行		
															合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟(病棟単位で非稼働)		合計(介護保険施設移行除く)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟(病棟単位で非稼働)				
36	有床診療所	山内耳鼻咽喉科医院	病床機能報告														1	0	0	0	0	1	(1)	1	0	0	0	0	1	0	現状維持
37	有床診療所	榕原医院	病床機能報告			○	○										1	0	0	0	0	1	(1)	1	0	0	0	0	1	0	現状維持
38	有床診療所	社会医療法人敬愛会 新設有床診療所															0	0	0	0	0	0		19	0	0	19	0	0	0	□回復期19床を増床予定
中部圏域 合計 ①														4,237	167	1,950	831	1,248	41	(41)	4,265	236	1,869	944	1,194	22	0				
2025年病床数の必要量 ②														4,992	561	1,639	1,691	1,101	-	-	4,992	561	1,639	1,691	1,101	-	-				
単純比較 ②-①=③														755	394	△ 311	860	△ 147	-	-	727	325	△ 230	747	△ 93	-	-				

※地域包括ケア病床を有する医療機関については、当該病床を回復期機能として計上している。そのため、病床機能報告の機能別病床数と一部異なる。

※「役割」欄は、医療施設一覧(沖縄県作成、平成30年9月公表)から該当する医療機関に○を記載している。

病院	琉球大学医学部 附属病院	2025プラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	550	550	0	0	0	0		570	570	0	0	0	0	0	□高度急性期(高度救命救急センター)20床を増床予定
中部圏域(琉大病院含む) 合計 ①																					4,835	806	1,869	944	1,194	22	0			
2025年病床数の必要量 ②																					4,992	561	1,639	1,691	1,101	-	-			
単純比較 ②-①=③																					157	△ 245	△ 230	747	△ 93	-	-			

【今後の機能転換の見込み】

- 現状から、将来(6年後又は2025年)に向けた機能転換の見込みは以下のとおり。
 - 高度急性期は、69床増加する見込み〔中部病院+9床、中頭病院+19床、中部徳洲会病院+41床〕
 - 急性期は、81床減少する見込み〔中頭病院△19床、中部徳洲会病院△41床、沖縄病院△40床、愛知クリニック+19床〕
 - 回復期は、113床増加する見込み〔沖縄病院+40床、北谷病院+54床、社会医療法人敬愛会新設診療所+19床〕
 - 慢性期は、54床減少する見込み〔北谷病院△54〕
 - 休棟等は、19床減少する見込み〔愛知クリニック△19床〕

4つの機能全てで、沖縄県地域医療構想(以下「構想」という。)の2025年の必要病床数の確保に向けた方向で機能転換が予定されている。
- 構想で最も不足する見通しである回復期機能については、構想策定時(2015年)の711床から944床へ233床増加する見込みとなっており、4機能で最も多い増加数となっている。ただし、2025年の回復期の必要病床数1,691床と比較すると、依然として不足する見通しであるため、引き続き回復期機能の確保に取り組んでいく必要がある。
- 中部圏域の基準病床数は3,512床となっており、現在、中部圏域は病床過剰地域となっているため、新たな病床整備ができないことから、既存病床の機能転換を進める必要がある。
また、今後の人口推移や高齢化率の高まりに伴う医療需要の動向等を注視し、必要に応じて、基準病床数の見直しや医療法第30条の4第9項及び第10項に規定する病床特例制度の活用等により、不足する病床機能の確保に努めていく。

